

# 思考・判断力を育むための「絵解き学習」をどのように進めるか

## ータイムスリップ近世②の利用ー

千葉県 勝浦市立興津中学校 田辺 靖

### 1 はじめに

歴史学習の楽しさって何だろう？ どうしたら子どもたちを引きつけ（動機づけという意味において）て歴史学習を展開できるのか？ 現場で教壇に立っている先生方なら一度は出会う素朴な疑問が、私の中にも内省的に浮かび上がる。

今回の授業実践では、イラストを使った「絵解き学習」を導入し、歴史学習における思考・判断力の育成を試みた。

### 2 目標、指導、評価の一体化にむけて

私は、暗記による知識の習得を否定してしまおうとは思わない。そのことは、社会科授業において大切な要素の1つであることは間違いないだろう。社会科授業の4つの観点を基礎・基本ととらえ、バランスよく目標設定と授業づくり、そして評価を行い、その結果として、課題意識を持ち、主体的に学ぼうとする態度形成（生きる力の基礎）が身につくのだということを戒めとして忘れないことが、これからの社会科教師にとって何よりも必要な資質になるのではないだろうか。

### 3 歴史を学ぶ基本は「大きな流れ」の認識

歴史を学ぶ基本について、中学校学習指導

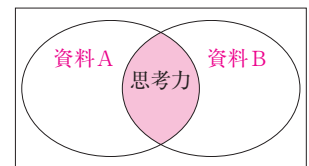
要領（平成10年12月解説－社会編－）は次のように述べている。「我が国の歴史を学ぶ基本を『歴史の大きな流れと各時代の特色』としたのは、あくまでも歴史を大きくとらえることを主体にし、詳細な事象の学習に陥らないようにすることを示したものである。『大きな流れ』を理解させるについては、政治の展開、産業の発達、社会の様子、文化の特色などに着目して他の時代との相違点や共通点を明らかにし、『各時代の特色』を理解させることが大切である。」（下線は筆者）そこで、私は次のような学習過程を考えた。

### 4 大きな流れを理解させる取り組みとして

第一に、異なる時代の資料AとBを用意し、共通点と相違点を見つけさせる。

第二に、AとB、2枚の資料のうちどちらが新しいかを判断させ、その理由を考えさせる。

第三に、AとBの時代の間を描いた資料を用意し、AからBへと時代が移り変わった様子を説明させる。



私は、思考力を育てる場合、資料を2種類以上用意し、そこから何がわかるのかを考えさせることにしている。そうすることにより、生徒が「資料を読み取る力」と、「思考力（考える力）」の段階的な違いを把握できると考えるからである。

<授業の展開>

(1) 2枚の資料を生徒に提示する。

下の資料Aは「応仁の乱」(『真如堂縁起絵巻』:教科書p.72)である。資料Bは「タイムスリップ!近世②」(教科書p.112~113)である。

①各時代の共通点を探す。

- ・ 武士がいる。(戦国時代…?)
- ・ 武士が支配していた時代。

②各時代の相違点を探す。

- ・ Aは戦をしているけど、Bの社会は平和そうに見える。
- ・ Aは武士が生き生きしてるけど、Bは町人が生き生きしている。
- ・ Aは武士が鎧を着てるけど、Bは着ていない。普通の着物。



Aの一部拡大図



Bの一部拡大図



(2) AとBの武士の役割の違いを考えさせる。

①Aの武士の役割を考える。

- ・ 自分たちの領土(利益?)を広げるために戦っている。
- ・ 敵が攻めてきたので、追い払っている。

②Bの武士の役割を考える。

- ・ 武士は地域の人たちのために、悪人を退治しようとしている。
- ・ 争いごとが起きないように警備している。

(3) AとBとではどちらが新しい時代を表しているのかを考えさせる。

- ・ 戦国時代が終わって、世の中が平和になったから、Bが新しい。

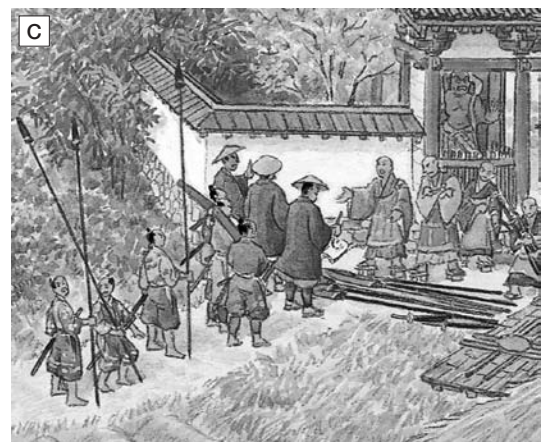


部分的に拡大してポイントを指摘できた

- ・ 世の中が平和になったので、武士は戦わなくなったから、Bが新しい。
- ・ 武士の仕事は、戦うことから、平和を守る役人の仕事になったから、Bが新しい。

(4) 資料Aと資料Bの間の社会の様子を描いた資料Cと資料Dを提示し、大きな時代の流れを説明させる。資料Cと資料Dは、「タイムスリップ!近世①」(教科書p.86~87)から引用している。

①資料Cは誰が何をしているところかな?



- ・武士たちが、お寺のお坊さんから武器を取り上げて、一揆を防ごうとしている。
- ・秀吉の家来が戦いのない社会をつくるために、刀狩をしている。

②資料Dは誰が何をしているところかな？



- ・武士が農民に、ちゃんと年貢を納めるように命令している。
- ・農民は武器を取り上げられて、年貢を納めることだけを考えるようになった。

(5)資料C・Dの内容をもとに、資料AからBの時代までの流れを説明する。

社会科学学習プリント 1年組 番氏名	
資料Aからわかることは？	資料Bからわかることは？
資料C：誰が何をしているところですか？	
資料D：誰が何をしているところですか？	
<input type="checkbox"/> ⇄ <input type="checkbox"/> 資料C・Dの内容をもとに時代の流れを説明しよう。	

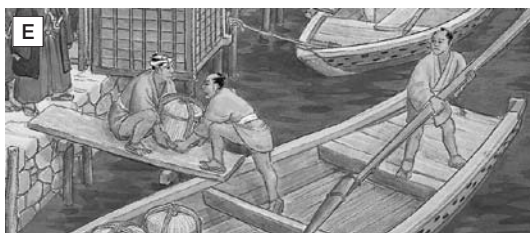
生徒たちが、学習のめあてを明確にし、学習内容を積み重ね、そして構造化していけるように上の学習プリントを用意した。生徒たちが、今回の学習をまとめた内容を次にあげる。

- ・戦国時代から社会が平和になったというのは予想通りだった。でも、平和になったから武士が戦わなくなったんじゃないって、武士が刀狩や士農工商の社会をつくって平和にしたんだと思った。

- ・豊臣秀吉が反乱を起こさないようにするために刀狩をして、身分が決まった。そして、武士たちが天下を統一して社会が平和になり、武士は警備するのが仕事になった。

(6)現代社会との比較の中で時代の特色を理解させる。

①下の資料E・Fは、現在のどんな職業なのか。また、現在のシステムとの違いを考えさせる。



<資料Eについて>

室町時代には問丸と呼ばれていて、現在の運送業者。この商品はどこから運ばれてくるのかな？

<資料Fについて>

飛脚！現在の郵便局とかだと思う。どこまで配達したのかな？



(E・Fは教科書p.112～113)

以上のように、現代のものと比較する中で、新しい疑問が生まれ、それを調べることで当時の社会のしくみが見えてくるだろう。とくに、郵便制度は明治時代に編成されたものだから、今後の学習に生きてくると思われる。



## 5 おわりに

絵解き学習は、生徒に絵を見せればよいというものではないということを授業者は知るべきだと思う。授業のねらいを持ち、何のために、どのように提示するのかを、きちんと計算したうえで提示すべきだろう。そうすることで、歴史学習への興味・関心が高まり、歴史を学ぶ基本が身につくと思うからである。